

学びのネットワーク 市民講師によるサロン塾

人材バンク推進委員の会と 市民大学との共同企画

第5回

人生講話と写経

講師 横山亮英氏(来迎寺住職)

日時 令和4年10月24日(月) 13:30~15:30

場所 鶴瀬公民館

講師 横山亮英氏(来迎寺住職)

参加者 17名



講師 : 横山亮英氏

前半は人生講和で主な内容は次の通りです。

檀家さんで、最近 105 歳で亡くなられた方の言葉として、「ご苦労さん」という言葉を、感謝を込めてよくつかっていられた。

あなたにとって大切なものは何ですかと聞くと、大部分のかたは「家族です」と、答える人が多い。でも本当は、自分が大切なのではないか。もっと自分を大切にしたい。

苦しみを表す言葉で、「四苦八苦」があるが、この“苦”とは自分の思うとおりにならないこと。



自分の思うとおりにならないとついイライラしてしまうが、そのイライラをなくするようにつとめることが大切です。

問題が起きても自分の考えに固執しない。また、そこにあるものに自分を合わせる事も大切。

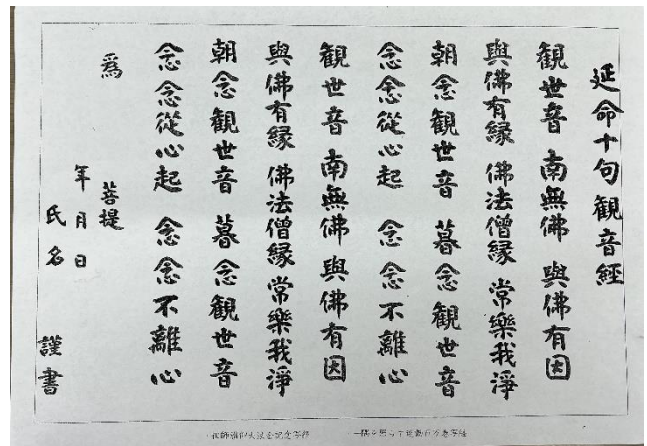
心清ければその身清し。

人生最後は穏やかに迎えたい。

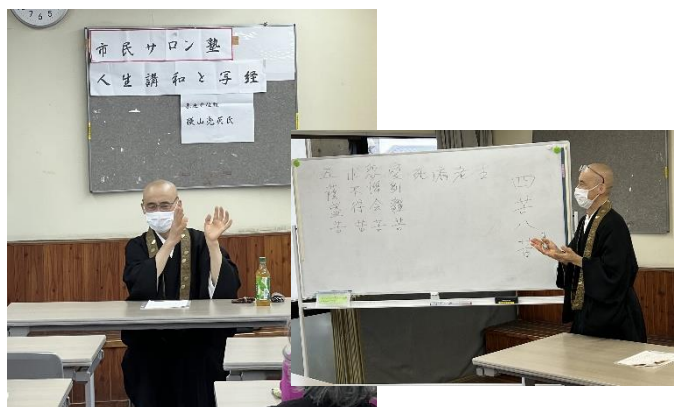
三途の川の番人は

「いいですか、どんな大事なものでもね、荷物はみんなすててくださいよ、自分の身体も捨てるんですからね」という言葉を言っています。

後半は「延命十句観音経」の写経を行いました。



最後に講師の横山亮英住職からこの文書の解説をしていただきました。



報告 三上 聰雄